

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

泳ぐ宝石・金魚のように人が輝く雇用創出プロジェクト～磨こう、長洲町の宝物を！～

2 地域再生計画の作成主体の名称

熊本県玉名郡長洲町

3 地域再生計画の区域

熊本県玉名郡長洲町の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の概要

(地勢)

長洲町は、熊本県の北部に位置し、面積は、19.43km²と小さいが、有明海に面し、対岸に島原半島、雲仙岳を望む自然豊かな地域である。また、1年を通して雨が少なく、年の平均気温も16℃と温暖な気候にも恵まれている。

(人口)

長洲町の人口は、昭和59年から18,000人台を維持してきたが、平成16年を境に17,000人台へと減少し、平成27年4月現在16,527人（平成27年4月末住民基本台帳）となるなど、減少が止まらない状況にある。

産業別人口をみると、第1次産業については、昭和35年にピークとなる3,296人（国勢調査）、全就業者に占める割合も51.5%であったが、平成22年は411人、全就業者に占める割合も5.5%と激減している。第2次産業については、昭和39年4月に新産業都市の指定を受けて以降、有明海沿岸部を埋め立て、工業団地を造成したことにより、造船・サッシ業を中心とした大型企業が相次いで進出したことから、昭和35年に918人、全就業者に占める割合は14.3%であったが平成22年には2,909人、全就業者に占める割合は38.8%へと増加している。

(産業)

長洲町の基幹産業は製造業であり、有明海沿岸部を埋め立てた有明臨海工業団地に、造船・サッシの製造業を中心とした40社の企業が立地している。製造品出荷額は、約2010億円（平成22年度）と熊本県内の自治体においても4位を誇り、熊本県下でも有数の工業都市として発展している。今後も、造船業を中心に設備投資が行われる予定であり、長洲町内経済の発展や雇用の創出に大きく貢献することが期待されている。

農業については、米作りを中心として、ミカン・梨などの果樹園芸のほか、ハウス栽培によるミニトマト、露地もの一寸ソラマメ及びオクラなどの小物野菜の栽培が行われている。農地面積は、824haと長洲町総面積の42.3%を占めているが、近年、低所得による後継者不足により、畑地を中心に減少傾向にある。また、長洲町は熊本県下でも有数のミ

ニトマト産地であるが、長洲産ミニトマトは、平成元年に3戸の農家で生産が開始され、開始当時の出荷販売額は3,000万であったが、平成25年には生産する農家は14戸、出荷販売額は約5億円までに至っており、今後も長洲町の農業の主要生産品として販売額の増加が期待されている。

そのほかの産業として「金魚の養殖」がある。金魚養殖は、江戸時代、今から約360年前に伝わったとされ、明治時代に金魚の稚魚のエサに「ミジンコ」が適していることが発見され、長洲町内のため池に豊富に「ミジンコ」が生育していたことから、本格的な養殖が始まったものであり、長い歴史をもつ伝統産業である。

4-2 産業の課題

長洲町は、造船・サッシなどの製造業を中心としたものづくりの町として発展してきたため、町民の多くが製造業に従事している。

しかし、熟練した技術者を多く含む団塊の世代の大量退職が始まっており、人材の確保が急務となっている。そのため、長洲町内の製造業への就職に向け、地域内の人材育成や企業と求職者のマッチングを進めることにより、地域雇用の拡大を図る必要がある。

農業においては、昭和35年には2,887人いた農業従事者が平成22年には337人となり、農業従事者の減少に伴い、農産物生産量や農業者の所得も減少している。また、六次産業化に向けた取り組みについても、農業従事者の高齢化や後継者不足により進んでいない状況にある。

金魚養殖については、昭和40年には80人いた養殖業従事者は、平成27年には12人まで減少しており、従事者の高齢化も進んでいる。高齢化や後継者不足により金魚の生産量も減少していることから、伝統産業である金魚養殖の継続が危惧されている。

4-3 目標

本地域再生計画では、造船・サッシの製造業を中心としたものづくりの町として発展してきた長洲町の潜在能力を最大限に活かし、町内の各種資源を結集した新商品の研究・開発、販売・販路拡大等により、雇用創出や地域経済の活性化を目指す。

製造業については、長洲町企業等連絡会議などを通じて長洲町に進出した既存の企業と連携し、人材の育成と技術革新を図りながら、雇用創出を図っていく。

農業についてはミニトマト、小麦、海苔、あさりといった長洲の特産物を活かした高品質高付加価値の商品の開発など六次産業化を推進し、販路拡大など新たな雇用の創出、地域経済の活性化を目指す。

金魚養殖については、生産者の生産販売の拡大はもとより、金魚等に関する商品等の開発を行うことにより、雇用の拡大、地域の活性化に繋げていく。

【数値目標】

- | | | |
|-----|-------------|---------------------|
| 目標1 | 認定農業者増について | 平成26年度47人→平成29年度50人 |
| 目標2 | 養魚組合員の増について | 平成26年度13人→平成29年度15人 |

目標3 金魚の出荷量の増について 平成26年度58万匹→平成29年度64万匹

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

各産業の取組を実施するにあたり、厚生労働省の「実践型地域雇用創造事業」を活用し、人材の育成や雇用機会の創出を目指していく。

具体的には、ミニトマト、小麦、海苔、あさりといった農水産物を活用した商品の開発、高付加価値化を図り新しい産業形態を創り出すとともに、新たな雇用の創出と地域経済の振興を目指す。

また、長洲町内の製造企業などの持続的発展や雇用創出のため、起業者・事業主への支援や求職者の能力向上、企業との連携・交流を図る。

その他、伝統産業である金魚養殖については、継者不足を解消するための支援や、養殖業だけでなく金魚をテーマにしたお土産や食べ物といったオリジナルブランドを開発するなど、創業支援や販路拡大を図り雇用の創出につなげる。

5-2 特定施策課題に関する事項

「該当なし」

5-3 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

「該当なし」

5-4 その他の事業

5-4-1 実践型地域雇用創造事業【B0906】

(1) 事業実施主体

長洲町地域雇用創造協議会

(2) 構成員

長洲町、熊本県、玉名農業協同組合、熊本北部漁業協同組合、長洲町商工会、長洲町商工会女性部、長洲町旅館飲食店組合、長洲町養魚組合、税理士法人ありあけ会計、株式会社LIXIL、ジャパン マリンユナイテッド株式会社有明事業所、日立造船株式会社有明工場、不二ライトメタル株式会社、地域住民代表

(3) 実施する事業内容

I 雇用拡大の取り組み

ア 地域資源を活用した新商品開発セミナー

事業概要：

事業者等の事業拡大を促し雇用の拡大を図ることを目的に、地域資源であるトマトやあさりを活用した食品加工に関するセミナーや金魚等をモチー

フにしたグッズ製造に関するセミナーを開催する。

実施時期：

平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月 3 日間／年 1 回

イ 六次産業化による販路拡大・マーケティングに関する基礎セミナー

事業概要：

第二創業や起業化による雇用の拡大を図ることを目的に、ミニトマトを生産する農家等の 1 次産業従事者等に対して、六次産業化に関する加工販売のノウハウを得るセミナー及び販路拡大やマーケティングに関する基礎知識を習得するセミナーを開催する。

実施時期：

平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月 3 日間／年 1 回

ウ パッケージング・デザインセミナー

事業概要：

町内商業者・食品加工業者・創業予定者等の商品販売力強化や事業者の雇用の拡大を図ることを目的に、デザイン等に関する販売促進セミナーを開催する。製品とパッケージデザインは、表裏一体と言われており、消費者の認知価値を高めるものである。この作用を活かし、商品の販路拡大を目指す。

実施時期：

平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月 3 日間／年 1 回

エ 製造業等関連雇用拡大セミナー

事業概要：

町の基幹産業である「造船業」「サッシ業」を中心とした町内の製造業等の事業所に対し、工場経営から農水産業等といった新分野進出等の事業拡大に関する支援セミナーを開催し、雇用の拡大を図る。

実施時期：

平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月 3 日間／年 1 回

オ 実践メニュー成果物公開セミナー

事業概要：

事業主及び創業予定者（農業・漁業者等を含む）等を対象に、実践メニューによって開発された製品等の具体的な手法（ノウハウ）を公開するため、開発成果の時勢に応じて、新たな製品等についての伝承講習・助言セミナーを開催し、開発製品等の事業継承による創業支援と雇用創出を図る。

実施時期：

平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月 3 日間／年 1 回

II 人材育成の取り組み

ア 食品加工技術養成セミナー

地域求職者等を対象に、地域資源であるミニトマトやあさりを活用した食品加工に関係するもの及び実践メニューで開発する商品を製造する際に必要な加工技術を取得するセミナーを開催し、食品加工に関する技術及び知識を習得することによって、地域求職者の早期就労につなげる。

実施時期 平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月 6 日間／年 1 回

イ 起業に向けた基礎セミナー

地域求職者や起業予定者等を対象に、起業や創業に必要なコンサルティング、創業後の経営課題への対応、会計処理方法等に関するセミナーを開催し、新たな雇用や創業につながるような人材の育成を図ることによって、地域求職者の早期就労及び起業につなげる。

実施時期 平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月 9 日間／年 1 回

ウ 町内製造業に関連する技術養成セミナー

町内製造業者、地域求職者等を対象に町の基幹産業である「造船業」「サッシ業」を中心とした製造業等の事業所への就職につながることを目的に、製造技術に関連する技術養成セミナーを実施する。

実施時期 平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月 6 日間／年 1 回

エ SNS 活用基礎セミナー

SNS、ブログ、ネットショップ等を活用した通信販売や顧客数向上など、販路拡大を目的とした SNS 活用基礎セミナーを開催する。

実施時期 平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月 5 日間／年 1 回

III 就職促進の取り組み

ア 情報発信事業

地域内企業と地域求職者に対して協議会が実施する各種セミナー等の告知や周知に加えて、雇用創出実践メニューの進捗状況を、町内外に情報発信することを目的として、雇用創造協議会のホームページを開設する。また、セミナーに取り組む事業内容等を記したパンフレット等を作成し、地域内の事業者及び町民、ハローワーク、若者サポートステーション、ジョブカフェ等に配布し、事業の理解を求めていく。

イ マッチングフェア

地域内企業と地域求職者を対象とした就職面接会の開催と実践型地域雇用創造事業の各種セミナーの案内及び成果についての情報提供を行うことで地域求職者の就労機会の確保と早期就労に資する支援を行う。就職後のミスマッチやギャップを防ぐことを目的として、町内協力企業による工場内就労体験を実施する。

IV 雇用創出実践メニュー

(金魚関連商品、農水産物関連商品等の開発)

長洲町の宝物である金魚やミニトマトといった地域資源を活かし、宝物として磨き上げ商品開発等につなげていく。そして、地域に根付く事業展開を図り、委託事業終了後も継続して雇用創造効果を波及的に広げ、雇用の拡大と地域の活性化に資する事業に取り組んでいく。具体的には、以下のように町の資源を活かした商品開発を行うものとする。

金魚のえさ関連商品開発事業

事業内容：九州・水生生物研究所や熊本県内の崇城大学、福岡大学等の協力を得て、金魚のエサとなる「ミジンコ」に関連したエサの商品を開発し販路拡大を図る。

ミジンコをえさとして与えた金魚は、強く長生きすると言われており、全国の金魚愛好家の間で、ミジンコに関するニーズが高い。そこで、ミジンコをえさとして全国に販売できるように、「ミジンコを乾燥させた粉末」や「冷蔵した休眠卵」等に関する調査研究を行う。この販売に関しては、東京都内の金魚卸問屋である「金魚坂」等の協議も行っており、全国的な販路拡大に向けた取り組みを図る。

この商品開発については、町が金魚の養殖技術の向上や金魚生産施設として整備した、研究棟や生産池からなる「長洲きんぎょ村」において取り組んでいく。ミジンコのえさを商品化し、創業支援と雇用創出を図る。

実施時期 平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月

金魚ブランド商品開発

金魚をテーマにしたお土産品や食べ物といった、金魚の町らしいオリジナルブランド商品等を開発し、町内事業所や創業等により販売の拡大を図り雇用の創出につなげていく。

実施時期 平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月

農水産物関連商品開発

町で生産されているミニトマトや小麦といった農産物と、海苔やあさりとい

った水産物を組み合わせて、高付加価値のある農水産物加工商品を開発し販売する。

町全体でも、商品開発は各単体での活動となっているため、生産、販売、加工といった六次産業化に向けた取り組みが皆無の状況であり、新たな雇用の創出に繋がっていない。ひとつの例として、町の資源であるミニトマト、あさり、小麦等を使った長洲産「トマトパスタ」や「海鮮ピザ」といった、資源を連携させることによる長洲町らしい商品開発を進めていく。また、町内には「醤油・味噌」、「植物油」「海産物」を加工する事業者も存在し、開発商品の調味料としての活用やその保存等の加工技術を活かした商品開発につながれば、農業・漁業、加工業者、商品販売の事業者の連携による雇用創出につながると考える。

さらに、町内飲食店や商店等と連携することで生産から加工・販売までの一連の連携が図られ、地域経済の活性化と雇用創出を図っていく。

実施時期 平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月

ものづくりグッズ関連商品開発

町内で、布草履や布を利用した小物づくりや、地域住民の生きがいづくりとして取り組まれている多種多様なグッズ等の製作が行われており、商品化の期待が寄せられている。地域等で活動している人々のものづくり意識の向上を図り、グッズ等の商品を開発し販売する。当然、金魚をモチーフにしたものから地域に伝統的に伝わる技法などを活かした商品を開発することで、長洲ブランドとしての付加価値を高めた商品開発を行う。

この地域におけるものづくりを拡大し、商売としての起業化を促すための人材育成と販路拡大に向けた取り組みを支援し、雇用創造に取り組むものである。

実施時期 平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月

開発した商品は、実践支援員がフードショー等への出品等を通じてメーカー等への販路開拓を図ることはもちろんのこと、年間約 25 万人が来場する町の観光施設の「金魚と鯉の郷広場」内にある「金魚の館」で販売する。併せて、事業成果物を公開し地域内事業所の売上拡大及び雇用創出を目指す。

5-4-2 複数事業と密接に関連させて効果を高める独自の取組
該当なし

5-4-3 支援措置によらない独自の取組

(①長洲町工場等振興奨励金補助事業)

事業概要：長洲町内への工場等の立地を促進し、町の産業の振興と雇用の拡大を図るため、事業所に対して以下の奨励措置を実施する。

用地取得奨励金：取得価格の20/100 限度額1,500万円

設備投資奨励金：建物面積1㎡×1,000円 限度額1,000万円

雇用促進奨励金：1人あたり10万円 3年 限度額500万円(各年

度)

実施主体：長洲町

事業規模：平成26年度予算額 4,000千円

事業成果：

イ これまでの実績

- ・平成24年度雇用人数 45人
- ・平成25年度雇用人数 40人
- ・平成26年度雇用人数 33人

ロ 今後の見込み

- ・平成27年度予定額 7,800千円
- ・平成28年度予定額 7,800千円
- ・平成29年度予定額 7,800千円

(②金魚養殖業調査事業研究事業)

事業概要：長洲金魚の販売手法や品種改良に関する調査研究を実施する。

実施主体：長洲町

事業規模：平成26年度予算額 500千円

事業成果：

イ これまでの実績

- ・平成25年度より実施し「金魚養殖業」の活性化を図るため、品種改良及び新種の研究を行っている。

ロ 今後の見込み

- ・金魚の販売ルートの拡大
- ・金魚の新品種の開発
- ・金魚の品種改良

(③あさり漁獲高向上事業)

事業概要：あさり資源の回復及び漁獲高・品質向上に向け調査事業を委託あさり人工種苗放流や有害生物(エイ等)の駆除を実施する。

実施主体：長洲町

事業規模：平成26年度予算額 4,429千円

事業成果：

イ これまでの実績

- ・あさりの漁獲高の増加

□ 今後の見込み

- ・更なるあさりの漁獲高の増加に向け、取り組みを強化する
- ・平成 27 年度以降も継続的に予算を計上する

(④長洲町企業等連絡会議事業)

事業概要：町内企業等、荒尾・玉名管内の高等学校等及び行政機関等との連携を図り、

地域の雇用の確保と地域経済の発展に資することを目的に会議を開催する。

実施主体：長洲町

事業規模：平成 26 年度予算額 100 千円

事業成果：

イ これまでの実績

- ・研修会及び交流会の開催（年 2 回）

□ 今後の見込み

- ・連携強化を図り雇用の確保等を図っていく

(⑤県産材等を活用したものづくり事業)

事業概要：あ県産材や自然素材を活用した各種キットを活用し、ものづくりを行うことに

よって、ものづくり意識の向上を図る。

実施主体：長洲町

事業規模：平成 26 年度予算額 1,500 千円

事業成果：

イ これまでの実績

- ・毎月 1 回、イベント時に随時開催し、ものづくりに対する意識の向上と、物を大切に作る心を育てる

□ 今後の見込み

- ・ものづくり活動をさらに拡大し、地域の活性化につなげる

5-5 計画期間

平成 27 年度～平成 29 年度

6 目標の達成状況に係る評価に関する事項

6-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

毎年、KPI を設定し、各取り組みに参加した企業数、求職者数、創業者(社)数、雇用者数等を協議会に報告し検証を行う。

6-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

翌年度5月末を目途に、長洲町雇用創造協議会においてプログラムの具体的な内容や進捗状況に応じたチェックを行い、予定(計画)された成果に達する達成度や課題等を検証し改善を行う。

(目標1) 雇用拡大の取り組み

	1年度目	2年度目	3年度目	合計
	4人	8人	8人	20人
地域資源を活用した新商品開発セミナー	常雇 1人 常雇以外 1人 創業者 人	常雇 1人 常雇以外 人 創業者 人	常雇 1人 常雇以外 1人 創業者 人	常雇 3人 常雇以外 2人 創業者 人
六次産業化による販路拡大・マーケティングに関するセミナー	常雇 1人 常雇以外 人 創業者 人	常雇 1人 常雇以外 人 創業者 人	常雇 1人 常雇以外 人 創業者 人	常雇 3人 常雇以外 人 創業者 人
パッケージング・デザインセミナー	常雇 人 常雇以外 1人 創業者 人	常雇 1人 常雇以外 1人 創業者 人	常雇 1人 常雇以外 1人 創業者 人	常雇 2人 常雇以外 3人 創業者 人
製造業等関連雇用拡大セミナー	常雇 1人 常雇以外 人 創業者 人	常雇 3人 常雇以外 人 創業者 人	常雇 3人 常雇以外 人 創業者 人	常雇 7人 常雇以外 人 創業者 人
実践メニュー成果物公開セミナー	常雇 人 常雇以外 人 創業者 人	常雇 1人 常雇以外 人 創業者 人	常雇 1人 常雇以外 人 創業者 人	常雇 2人 常雇以外 人 創業者 人

(目標2) 人材育成の取り組み

	1年度目	2年度目	3年度目	合計
	12人	16人	16人	44人
食品加工技術養成セミナー	常雇 1人 常雇以外 2人 創業者 人	常雇 2人 常雇以外 3人 創業者 人	常雇 2人 常雇以外 3人 創業者 人	常雇 5人 常雇以外 8人 創業者 人
起業に向けた基礎セミナー	常雇 人 常雇以外 人 創業者 2人	常雇 人 常雇以外 人 創業者 2人	常雇 人 常雇以外 人 創業者 2人	常雇 人 常雇以外 人 創業者 6人
町内製造業に関する技術養成セミナー	常雇 3人 常雇以外 2人 創業者 人	常雇 3人 常雇以外 3人 創業者 人	常雇 3人 常雇以外 3人 創業者 人	常雇 9人 常雇以外 8人 創業者 人

SNS活用セミナー	常雇 1人	常雇 1人	常雇 1人	常雇 3人
	常雇以外 1人	常雇以外 2人	常雇以外 2人	常雇以外 5人
	創業者 人	創業者 人	創業者 人	創業者 人

(目標3) 就職促進の取り組み

	1年度目	2年度目	3年度目	合計
情報発信事業	5人	6人	6人	17人
	常雇 人	常雇 人	常雇 人	常雇 人
	常雇以外 人	常雇以外 人	常雇以外 人	常雇以外 人
	創業者 人	創業者 人	創業者 人	創業者 人
マッチングフェア	常雇 3人	常雇 4人	常雇 4人	常雇 11人
	常雇以外 2人	常雇以外 2人	常雇以外 2人	常雇以外 6人
	創業者 人	創業者 人	創業者 人	創業者 人

(目標3) 実践メニュー

	1年度目	2年度目	3年度目	合計
・金魚のえさ、金魚ブランド、農水産物関連、ものづくりグッズ関連等商品開発	4人	4人	4人	12人
	常雇 4人	常雇 4人	常雇 4人	常雇 12人
	常雇以外 人	常雇以外 人	常雇以外 人	常雇以外 人
	創業者 人	創業者 人	創業者 人	創業者 人

(1) アウトプット指標

イ 雇用拡大メニュー（利用企業数）

- ① 1年度目 80社
- ② 2年度目 80社
- ③ 3年度目 80社
- 合計 240社

ロ 人材育成メニュー（利用者数）

- ① 1年度目 90人【地域求職者 70人、在職者 20人】
- ② 2年度目 90人【地域求職者 70人、在職者 20人】
- ③ 3年度目 90人【地域求職者 70人、在職者 20人】
- 合計 270人【地域求職者 210人、在職者 60人】

ハ 就職促進メニュー

①	1年度目	30人【地域求職者 25人、在職者 5人】
②	2年度目	30人【地域求職者 25人、在職者 5人】
③	3年度目	30人【地域求職者 25人、在職者 5人】
	合計	90人【地域求職者 75人、在職者 15人】

(2) アウトカム指標

①	1年度目	25人（常雇 15人、常雇以外 8人、創業者 2人）
②	2年度目	34人（常雇 21人、常雇以外 11人、創業者 2人）
③	3年度目	34人（常雇 21人、常雇以外 11人、創業者 2人）
	合計	93人（常雇 57人、常雇以外 30人、創業者 6人）

6-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

長洲町地域雇用創造協議会において、翌年度6月中にホームページにおいて公表する。

7 構造改革特別区域計画に関する事項

該当なし

8 中心市街地活性化基本計画に関する事項

該当なし

9 産業集積形成等基本計画に関する事項

該当なし